

社会医療法人母恋の使命「医療人として組織として社会に貢献する」



目次

- 今、知ってほしいがんのこと 2～3
- 院内探検隊 ハギウダが行く!! 4～5
 - ・ PET検査のお薬 FDGができるまでに密着
- 栄養通信 6
 - ・ 寒さに負けない! あったかレシピ
- 母恋インフォメーション 7
 - ・ New Face ～2月着任医師のご紹介
 - ・ 東京発PET-CTがん検診ツアーが始まりました!
 - ・ がん拠点病院のエキスパート がん相談支援センター
- 日鋼記念病院 各種教室のご案内 8

今月の スナッフ



病気は～、そとー!

小児科病棟では子供たちの病気を追い払うオニが登場。
オニ役の先生の名演技がひかり、歓声と泣き声と、お母さんたちのシャッター音が響いたひと時でした。



今、知ってほしいがんのこと

副院長 / 消化器外科 主任科長

ます こ ひろ ゆき
益子 博幸 医師

昭和61年 北海道大学医学部卒
日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医

先日、がんの10年生存率が初めて発表され、新聞各紙がその数値を報じました。この調査結果は何を示しているのでしょうか。

消化器外科主任科長で、長年大腸がんを専門として治療の最前線におられる益子先生にお話を伺いました。

新聞報道で「がんの10年生存率平均58%」と報じられました。特に胃、大腸、喉頭の「病期I」は90%を超えています。

今回初めて「10年生存率」が発表されました(図1)。がんの死亡数が多い「胃」「大腸」はステージIにおいては胃で95.1%、大腸で96.8%と高い数値でした。がんの種類や、臓器、患者の年齢などによっても違うので一概には言えませんが、早期発見による早期治療が大切であることをわかりやすく伝えているのではないかと思います。

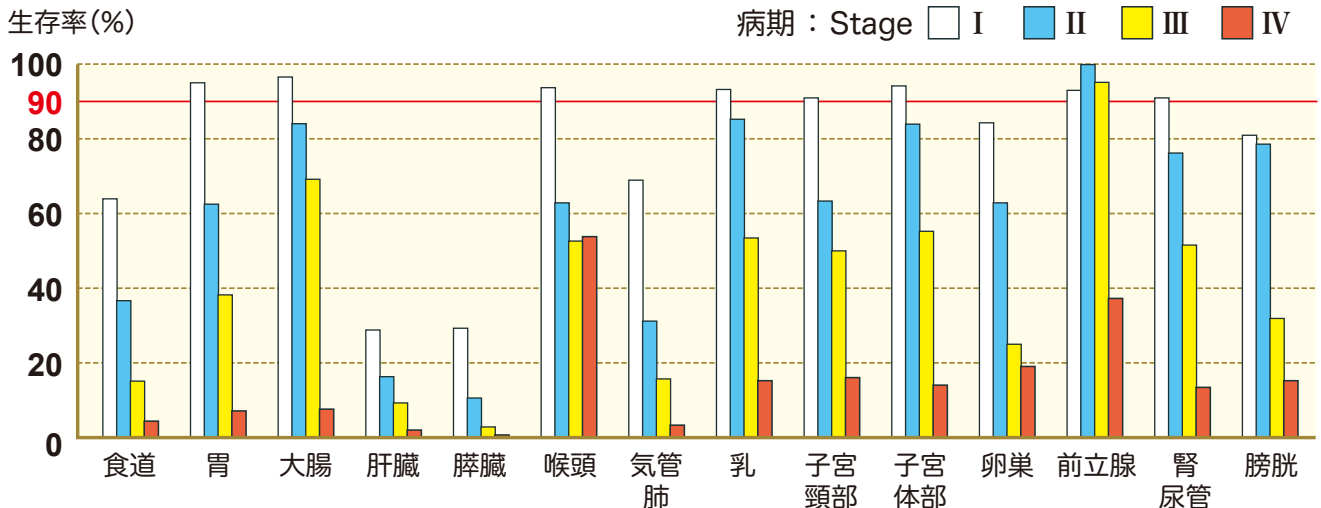
治療には様々な選択肢があると思いますが、どのように進められるのですか？

がん治療には「手術」「放射線治療」「化学療法」など様々な治療方法がありますが、基本的には「がん診療ガイドライン」にそって行われます。幸い、当院はいずれの治療も施設内で完結でき、さらに緩和ケアチームによって痛みをケアしながら治療を進められます。胃がんや大腸がんでは5年、乳がんでは10年間、継続的な経過観察や治療が必要です。

私たちの目標は、できる限り術前の患者さんの生活に戻れるようにすること。患者さんには、病気によってこれまでの生活をあきらめないよう説明しています。患者さんにとって最適な治療を目指して、消化器内科・消化器外科のみならず、放射線科や形成外科、歯科口腔外科など様々な専門科が力を合わせて取り組んでいます。

図1 各臓器における病期別10年生存率(1999-2002年初回入院治療症例)

全がん協加盟施設の生存率協同調査
ホームページより一部抜粋



がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気。やはり早期に発見するには、検診を受けた方がいいですよね？

冒頭にお話した早期発見、早期治療のきっかけとして、検診はやはり有効だと思います。しかし、せっかく検診を受けて「要精密検査」と出ても病院へ受診せず、放置している方が意外に多いことです。対がん協会の2012年の調査で精密検査を受けずに済ませてしまった人が大腸がんで約30%、乳がんで10%もいるそうです。この中には、がんの人もいます。

検診を受けない理由として、「時間がない」「がんと分かるのが怖い」などがありますが(図2)、せっかく早期にがんを見つける機会を自ら手放してしまうのは残念なことです。

また、気になる症状をそのままにしている方もいます。血便が出ているのに「もともと痔があるから」と放置してたら、実は大腸がんだったというケースもあります。気になる症状があれば、早期に受診することをお勧めします。

西胆振地域唯一の地域がん診療連携拠点病院として

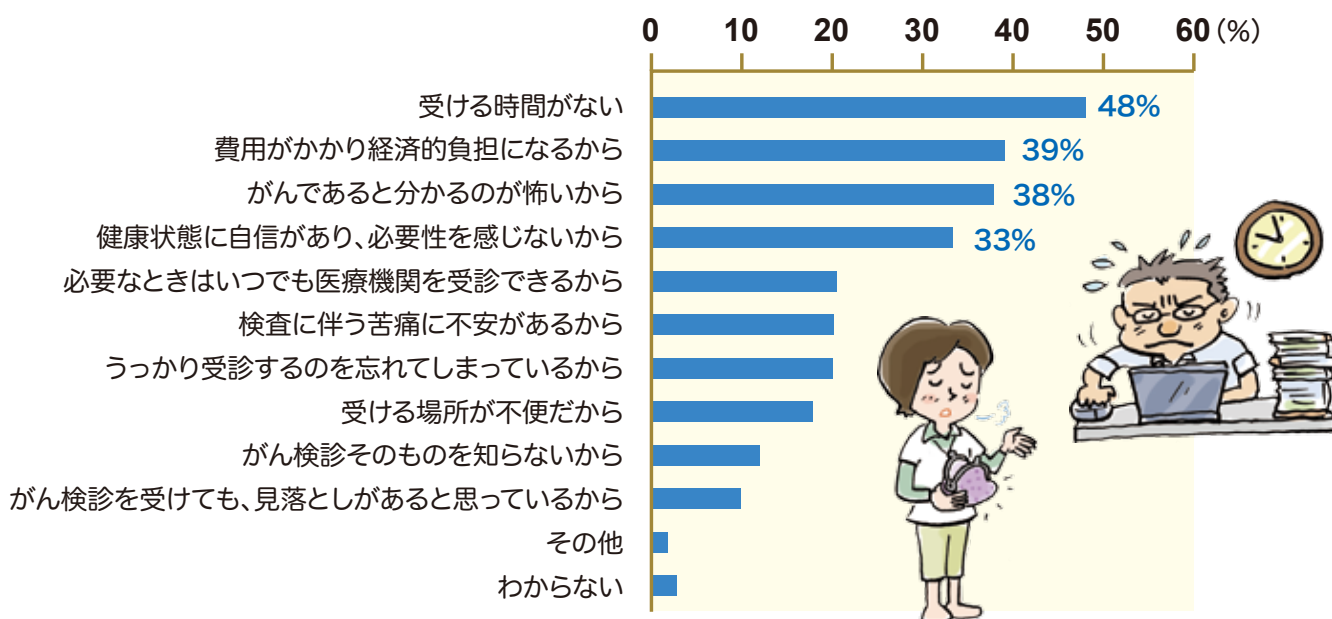
最初にお話ししたように大腸がんでは、早期発見・治療によって10年後には治っている方がたくさんいます。一方で、その10年間は再発のリスクの可能性もあります。

大腸がんで言えば、一昔前まで再発した場合の予後は、無治療で平均6ヵ月と言われていました。しかし、分子標的薬や抗がん剤の進化によって、腫瘍の成長を遅らせ、平均生存期間を30ヵ月に伸ばすことも可能になってきました。このように、医療は日々進化しています。私たちの技術も進化します。いたずらにがんを恐れるのではなく、乳がんであれば「自己検診」、その他のがんでも「症状があれば受診する」など、検診と併せて実践し、早期発見のチャンスを増やしてください。

この病院は西胆振地域唯一の地域がん診療連携拠点病院として設備、人員など、厚生労働省の厳しい条件をクリアした病院です。この環境と技術、知識のすべてを使って、皆さんの10年後の健やかな生活に貢献したいと願っています。

図2 がん検診を受けない理由(複数回答)

平成26年度 内閣府「がん対策に関する世論調査」より



院内探検隊

PET検査のお薬

ハギウダが行く!!!

FDGができるまでに密着



広報・広告室 萩生田貴久美

放射線科/薬剤部

ハギウダも
バッチリ着替えて
ルポります
(*^v^*)ドホキ



日鋼記念病院のFDG合成専用施設初公開!

1998年、北海道で初めて当院で導入したPET検査。導入当初からこの検査に使う「FDG」というお薬は、院内の特殊な装置で作られているって知ってましたか? スタッフでも限られた人しか入れない特別なエリアに潜入です。



FDGの集積

全身のがんを検索するPET検査

欠かせないFDGには厳しい安全基準

PET = Positron Emission Tomography

ポジトロン・エミッション・トモグラフィ

FDGの本名は『フルオロデオキシグルコース』。魔法使いの呪文のようなこのお薬は、ブドウ糖（グルコース）に放射線を出す物質F-18をくっつけたもの。PET検査は、ブドウ糖を多量に摂取するがん細胞の特性を利用し、体に分布したFDGからの放射線を特殊なカメラでとらえてがんを発見する検査です。



AM 7:00



クリーンルーム入口▶

FDGは鮮度が大事!

FDGは半減期が短く被ばく量が少ないのが長所ですが、反面お薬の寿命が短く、大量の作り置きができません。そのため、検査当日、日鋼記念病院で合成した「作りたて」のお薬を使用するので、朝早く作業が始まります。

室内に不純物を持ち込まないように、強力なエアシャワーがハギウダを襲います。宇宙船に乗り込むみたい!(°Д°)ヒョー

50以上の点検項目を確実にチェック

薬を安全に生成するために、部屋の温度、ポンペ、薬剤のセッティングなど50以上の検査項目を毎回チェックします。



JSW (日本製鋼所) の
マーク入り(♫)!

F-18を合成するサイクロトロン

全てのセッティング、チェックが終わるといよいよサイクロトロンを稼働。「物理学・力学・化学・科学いろいろな技術と知識を必要とする、すごく精密でデリケートなシステム。異常が起きないように、波形や数値の動きをドキドキしながら見ています。」と教えてくれました。



電圧・電流・ガスが正常に作動しているか、数値をチェック。ロケット打ち上げのような緊張感が漂っています。



しっかりチェック

FDG合成

一連の流れは、全てコンピュータで管理されていますが、最後は人の目で最終確認。その後、1トンもの分厚い鉛の扉をしっかりと閉じて、F-18がPET検査で使用するお薬 (FDG) に変身です。最後まで気が抜けません。



薬の合成中も、さらにチェック

専任の薬剤師がお薬を検定 そして、患者さんへ

生成されたお薬が正確に合成されているか、確認試験、純度試験、無菌試験など、何項目にもわたって検定を行います。合格したお薬が患者さんの元に届けられます。今日は9時30分から予約が入っています。早く！早く！(♫; ㄖㄖ)



PET検診のお薬は時間単位で効果が減るため、製造から品質試験まで迅速に行わなければなりません。そのうえで、複数の専門職が厳しい管理を行い、安全で品質の高い薬を使って検査ができるのですね。



ハギウダより
ひとこと

お薬の有効な時間が決まっているので、患者さんが予約時刻に来ないと検査ができない場合もあるそうです。正確な検査実施のため、ご協力お願いします。



困みに、今回の被ばくは
0.000mSvでした。
(^^)v

New Face ～2月着任医師のご紹介



消化器内科
迫 智也 (さこ ともや) 医師

平成21年 浜松医科大学医学部医学科卒
日本内科学会認定医

山内先生の後任として赴任しました。どうぞよろしく申し上げます。

東京発 PET-CTがん検診ツアーが始まりました！

見どころ、食べどころ満載の西胆振の観光に「PET-CTがん検診」が加わりました。
JALPAK のツアーにて発売中です！ ご親戚・お知り合いにお知らせください。

出発日 2月1日～4月28日まで毎日出発(2泊3日)
ただし、3月19・20・21日は除く

出発地 東京



室蘭・登別
観光

室蘭プリンスホテル
第一滝本館
登別グランドホテル

宿泊

申込み 日本航空(JAL) ホームページ
http://www.jal.co.jp/domtour/hok/pet_ct/

問合せ 日鋼記念病院 健診センター TEL 0120-257-457

がん拠点病院のエキスパート がん相談支援センター 「何を聞けばいいかもわからなかったけど、心が少し楽になった。」

以前、相談者様から頂いた言葉です。
私たちは、厚生労働省が定める地域がん診療連携拠点病院として、設置を義務づけられた地域の「がんよろず相談所」です。
がん相談支援専門のカリキュラムを経たスタッフがまず、お話しを伺い、問題解決に向けて支援をさせていただきます。
受診している医療機関は関係ありません。まずは気軽にご連絡ください。



問合せ がん相談支援センター (医療福祉相談室)

TEL 0143-22-2225 平日 9:00～17:00

担当者が不在の場合もありますので、事前に連絡をいただけますと時間調整し、ご来室をお待ちすることができます。

日鋼記念病院 各種教室のご案内

病気の予防や健康維持を目的に日鋼記念病院では各種講座を開催したり、ラジオ番組を放送しています。普段、なかなか質問することができないことなど、気軽にご相談いただく機会としてご活用ください。皆様のご参加お待ちしております。

糖尿病教室

合併症予防は適切な血糖コントロールから。気になる症状、生活上の注意など専門職がお話をします。

- 2月23日 医師 糖尿病の病気について
- 3月 1日 認定看護師 シックデイって知ってますか?
- 3月 8日 管理栄養士 正しく知って、美味しい外食
- 3月15日 理学療法士 糖尿病と運動療法

開催時間 15:00～ ※医師の回は14:30～

申込・問合せ 糖尿病センター TEL 0143-24-1331

講演のタイトル、講師のスケジュールは変更になる場合があります。

健康プラザ

学んでイキイキ、動いてイキイキ。病気予防や健康維持を目指して、みんなで学びを深めましょう。

開催日時 平成28年3月17日

内容 **講座** 健康振り返り
グループワーク

場所 地域医療研修センター

申込・問合せ 地域医療連携センター
TEL 0143-25-2555



母親学級・両親学級

《母親学級》 13:30～15:00

- 2月23日 分娩の経過 ほか
- 3月 8日 マタニティ・ヨガ

《ヨガ参加費》 500円

《両親学級》 10:00～12:00

4月10日(日)

※両親学級は偶数月の第2日曜日に開催です。

申込・問合せ 産婦人科外来 TEL 0143-24-1331



FM ラジオ健康プラザ

医師・看護師・栄養士など様々な職種が、週替りで医療や病気にかかわる旬の話題を取り上げます。

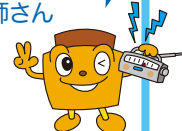
- 2月19日 健康クスリ箱・教えて薬剤師さん
- 2月26日 いきいき健康レシピ
- 3月 4日 医療トピックス
- 3月11日 医療トピックス

番組内容は予告なく変更になる場合があります。

放送時間 毎週金曜日 9:30～9:40

当院のホームページで、バックナンバーを公開しています！ラジオ健康プラザライブラリーをご確認ください。

84.2
MHz



編集後記

つい先日まで「今年の冬はおかしい」と季節外れの暖かさを嘆いていたのに、突然の寒さと雪にげんがりしています。そんな中、当院の PET-CT がん検診を利用したバックツアーが、ジャルパックさんから発売されました！ 関東のお客様に西胆振の冬の楽しさを満喫してほしいですねっ！てことは、やっぱり冬らしくなくちゃ魅力半減…。北海道の魅力でもある寒さ厳しき折、手洗いを徹底して、残りの冬を楽しみましょうね～！

(ハギ)

発行 **社会医療法人 日鋼記念**

日鋼記念病院

〒051-8501 室蘭市新富町1丁目5番13号

TEL 0143-24-1331 (代)

FAX 0143-22-5296

e-mail koho@nikko-kinen.or.jp

ホームページ <http://www.nikko-kinen.or.jp>

編集 広報誌編集委員会 委員長 山田康弘